

ヨーロッパにおける多民族共存—— 多民族共存への多視点的・メタ視点的アプローチ 連続セミナー

会場 国際文化学研究科学術交流ルーム (E410)

入場無料・事前申込不要

第1回

2/15 (月) 午後2時～4時

坂井一成 「ヨーロッパにおける多文化共生」

岩本和子 「『ベルギー文学』の射程——民族意識とフランス語と
オランダ語と」

第2回

2/23 (火) 午後2時～4時

寺尾智史 「少数言語保全と言語記述の複数性——表記のゆれか、
多様性のあらわれか」

三浦伸夫 「エスペラント運動と多民族共存思想」

第3回

3/2 (火) 午後2時～4時

松井真之介 「オスマン帝国の1915年アルメニア人ジェノサイドにお
けるフランス国家の認知問題——EU、トルコ、フランス」

石川達夫 「チェコ国歌に隠された問題——両大戦間チェコスロヴァ
キアの民族問題」

(関連図書) 坂井一成 『ヨーロッパの民族対立と共生』 (芦書房、2008年)

岩本和子 『周縁の文学：ベルギーのフランス語文学にみるナショナリズムの変遷』 (松籟社、2007年)

寺尾智史 『ミランダ語の成立：辺境言語マイノリティとイベリア近現代史』 (三重大学出版会、2010年刊行予定)

石川達夫 『チェコ民族再生運動：多様性の擁護、あるいは小民族の存在論』 (岩波書店、2010年4月刊行予定)